

人ごうどひとめぐり

神戸から北海道開拓へ 先祖の歴史を一冊に

昨年(2023)の12月16日、北海道芽室町に住む土屋秀哲さん・直道さんとご親族が、ご先祖である弥八・はる夫妻の記念誌「人間至処有青山」をたずさえて役場を訪問されました。土屋さん一家と神戸町の繋がりは、今から100年以上前までさかのぼります。

記念誌は、現在の神戸町大字丈六道に住んでいた弥八・はる夫妻とその親族が、明治40年(1907年)に北海道に渡るところから記載されています。明治初頭から本格化した北海道開拓を目的とした移住でした。

新天地として選んだのは、十勝平野の西部に位置する現在の芽室町。岐阜県からも多くの人に移り住んでいた土地です。厳しい自然に翻弄されながら、家畜や農機具



▲土屋弥八・はる夫妻



▲記念誌「人間至処有青山」



▲役場を訪問された土屋さんご一家

を買い入れて農業の規模を広げていきました。学校建設費用の寄付をしたり、村会議員を務めるなど、子孫に残す環境の整備にも積極的でした。はるさんが昭和32年、弥八さんが昭和48年に生涯を閉じますが、記念誌には「郷里神戸のことはひと時も忘れることは無かったと思います」と記されています。

現在は五代目・六代目の子孫も生まれています。直道さんは、三代目である自分たちが記録を残さなければという思いから、従兄弟である幸雄さんと秀哲さんに声をかけて作業を進めました。作成半ばで幸雄さんが亡くなるなどの苦難もあり、資料の収集に10年、編纂に5年の歳月を要しました。直道さんは「記念誌作成のため神戸町を何度も訪れましたが、どなたも優しく親身に対応していただきました。故郷を思いながらいろいろな世界に挑戦して欲しいという思いを込め作ったので、ぜひ多くの人に見ていただければ」と話されました。

「人間至処有青山」は町立図書館でご覧いただけます。

戸籍の窓

12月1日～12月31日までの受付分
(届出順・敬称略)
希望者のみ掲載しています。

人のうごき

令和4年1月1日現在

人口 …… 18,702 人(− 14)
男 …… 9,135 人(− 14)
女 …… 9,567 人(± 0)
世帯数 …… 7,087 世帯(+ 12)

※()内は前月との比較



お誕生おめでとうございます

区名	お子さんのお名前(ふりがな)	親さんのお名前
福井	藤田 和花 (かずは)	・伸 士, 友 紀
南方	須貝 玲心 (れみ)	・祐 吉, 美 帆
田	瀧澤 幸生 (こうき)	・康 史, 美 佳
栄町	河合 南瑚 (なこ)	・紀 幸, 綾 子
新瀬古	高橋 虹衣 (にこ)	・潤 一, 祐 子
新屋敷	橋 澄怜 (すみれ)	・昌 宏, 里 加
南方	竹中 愛花 (らな)	・翔 哉, 真 奈加



心からお悔やみ申し上げます

昭和町	飯 沼	みなを	(96歳)
新西保	長谷川	亮 介	(87歳)
あさひ町	若 園	功	(79歳)
西 保	野 村	守	(95歳)
落 合	寺 田	義 秋	(86歳)
加 納	名 和	忠 治	(93歳)
西座倉	吉 田	きく彖	(95歳)
和 泉	大 場	みさ子	(54歳)
昭和町	山 田	みさ彖	(97歳)
新屋敷	宇 野	隆 治	(93歳)
南 方	馬 淵	鈴 子	(90歳)



ご結婚
おめでとうございます

東方 馬淵 大輔 ♥ 宮島 実香 (柳瀬)

【お詫びと訂正】広報ごうど1月号の「戸籍の窓」において字句の誤りがありましたのでお詫びして訂正いたします。「馬淵大介さん」は正しくは「馬淵大輔さん」です。

